

1. 件名：ALPS 処理水の測定・評価対象核種の選定に関する面談
2. 日時：令和4年10月19日（水）15時00分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、大辻管理官補佐、小西係長、塩唐松係長
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当3名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社から、ALPS 処理水の海洋放出関連設備の設置に係る実施計画の審査において今後測定・評価の対象とする放射性核種を選定するという方針を示した点に関し、前回面談（令和4年10月11日）からの更新点について、資料に基づき以下のとおり説明があった。
 - Se-79 と Pd-107 の分析結果
 - Fe-55 の移行係数を設定する際の分析結果
 - 滞留水等のサンプリング場所とその概要
- 原子力規制庁は、上記説明内容を確認した上で、以下の点について今後説明するよう求めた。
 - 移行係数を設定する根拠となっている核種分析の詳細について
 - 監視対象核種に対して実施する詳細分析の内容について
 - 測定・評価対象核種の再評価に関する考え方及び実施内容について

6. 資料

- ・ ALPS 処理水の海洋放出時の測定・評価対象核種に係る検討について